



事務局長通信 No.1号

2012.7.23 発行

～子どものための

学校安全を考える～

2012.7.1 第1回 公開学習が
早稲田大学戸山キャンパスにて
開催された。

- ・参加者44名
- ・交流会参加者28名
- ※基礎講座参加申込者12名



準備会の仲間が言いました…

秋山寿子 (受付)

お疲れ様でした。

ほっとなさっていることと思います。

シンポジストのお話は、私が今まで関わったことのない分野で、皆さん淡々とお話なされましたが、どんなに悔しく辛い思いをなさっておられるのか、と思うと私は親の立場に感情が入り、冷静ではいられませんでした。

(学校って何なの？と言うのが正直は気持ちです。) もう少し客観的に眺められるようにならないと、電話相談員は、無理ですね！

※ 神奈川県障害福祉相談員・逗子社会教育委員

～この👏と…～



シンポジストの声後日談 高瀬典子(茨木市在住)

準備等お疲れ様でした。お弁当もおいしくいただきまして、ありがとうございました。

今回はあえて原稿を作りませんでした。無謀とも思ったのですが、浅見さんが以前に「高瀬さんの思うままのことを率直にお話ください」とおっしゃり、その言葉がずっと頭にありました。

私は原稿を書くともうも固い文章になってしまいます。状況によりそれが良い時もありますが、今回はそういう感じよりも普段お友だちに話をするみたいにお伝えしたいな、と考えました。なので、話をしている最中もずっと頭の中が緊張しており(原稿がない分)終わった途端、一気にスイッチがOFFになってしまいました。今思い返しても事細かには覚えておらず、ちゃんとお伝えできたか、まとまっていたかなど不安な面が多々ありますが、あまり考えると自己嫌悪に陥りますので、次なる課題に頭を切り替えているところです。

息子が事故に遭ってから5年経ちましたが、なぜか年々忙しくなって来ているのです。医療の問題、福祉の問題、学校事故の問題等々各分野で問題が山積みで、そこで何とかしようと何時の間にか私自身もその輪の片隅にいる状況です。

しんどい思いをしている当事者が声を上げていかなければならない状況は益々負担が増えることになるのですが、声を上げなければ何も進まないのが今の現状ですものね。

そんなこんなで、介護もバタバタしております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

※ 高瀬 啓太さん(当時18歳は)柔道の形の講習会で昇段審査会に参加し、事故に遭う。



刊行・問い合わせ： 学校安全全国ネット準備会



事務局長 浅見 洋子

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステジビル1706

南北法律事務所内 TEL 03-3511-5070

FAX 03-3511-5784

http://www.geocities.jp/school_safety_net/index.html





鹿野 真美さんの声 (コーディネーター)

これまで、数多くの講演会やシンポジウムに、主催者側として、登壇者として、また聴講者として参加してきましたが、今回の学校安全推進全国ネットワークの講演会・シンポジウムほど、聴講者を含めた全員が意欲的な会は初めてだった。参加者ひとりひとりの熱意が直に伝わってくるようで、圧倒された。

参加者数のこだわり、『人がたくさん=盛況=成功』という短絡的発想にとらわれていた自分が恥ずかしい。

『懇親会』では、どのような立場で参加したかを、問わず 全員が一言ずつ発言したが、これも過去に経験したことがない。

『懇親会』の名にふさわしく愉快で楽しい、のみならずたくさんの刺激を受けた、有意義な時間だった。

※ 学校安全全国ネット準備会幹事 (弁護士)



喜多 明人さんの声 (記念講演)

今回の学校安全公開学習で、被災者の声をききながら、わたしは、40年前に起きた小野寺勇治君事件を思い出した。

勇治くんのお父さんが

切実に訴えた思いを受け止めながら、これは大変な問題だ、と心を揺り動かされた。

子どもの事故を家族がすべて背負い込む現状に直面して、わたしも学校災害問題に深く入り込むことになった。

今回、またそのような思いを再び共有でき、身の引き締まる思いである。

※ 学校安全全国ネット準備会代表 (早稲田大学教)



🌸 **ちょっとお耳を！**

・七月一日の公開学習会で
五月二十四日(木曜)から
スタートした電話相談の
相談者Kさんが、学習会に
参加されました。小学校二
年生の娘さんが、給食当番
中に火傷を負った事故に
ついて、受け持ち担任教師
の対応に、疑問を投げかけ
ました。四年生から二年生
の受け持ちになった教師
は、生徒の二年間の学校生
活での成長の違いを認識
する事なく、給食準備をさ
せていたようです。熱い汁
が入った食缶を、頑張っ
て一人で持っていたYち
ゃんは、重さに耐えられ
ず、倒してしまい両足に火
傷を負ったのだそうです。

「今日の給食は熱い汁が
出されます。重たいです
から、二人で注意しなが
ら運んでください。」と
一言注意があったらば…。

※子どもの頑張りを見守
る大切さと、難しさを学
ばされます。 ヨウコ



電話相談のお知らせ



〈学校安全・電話相談を受け付けています〉

毎週木曜日 11時～14時まで (木曜が祝祭日と重なった日は、☎休みます。)



03-6268-9363



※ 思い悩む前に、受話器をとってください！ 経過を見ながら一緒に方向性を考えていきましょう！

子どもの学校生活の安全を願い、祈りつつ…

〈日本外来小児科学会総会 患者部門担当 (豊川達記医師) の助力を得、学校安全全国ネット準備会も参加

第22回日本外来小児科学会にブースを出展します！！

一人でも多くの方々に、学校事故の現実を知って頂きたい。
同じ不幸が、過ちが、繰り返されぬよう 願いと祈りの心で…

2012年8月24・25・26日に向け**ご協力を！ 知人・友人に声を掛けお出てください！**

※「**学校事故を再発防止するには、事実を伝えひろめること**」と信じます。

第22回日本外来小児科学会 年次集会
2012年8月24日(金)~26日(日)
パシフィコ横浜

会長 横田俊一郎 (横浜小児科医院)
事務局 山本 淳 (星川小児クリニック)
〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川2-4-1 星川SFビル3F
E-mail yokohama22@h05.itscom.net
☎ 045-336-2260 FAX 045-336-2008
http://sagpj22.net/top.html

「ユニークな地域社会、みんなの子どもの未来」
春季カンファレンス2012
開催日：4月8日(日)
会場：パシフィコ横浜

2012年7月8日 東京民報者 内田記者



学校安全、なぜ進まない

法律家・当事者らが準備会



クラブ活動、スポーツ大会などで起きる学校災害をなくし、子どもの最善の利益に立つた安全体制をと活動する「学校安全全国ネット準備会」(喜多明人代表)による公開学習会が一日、新宿区内で開かれました。



法律家、学生、市民など約40人が参加して熱心に討論しました。

学校事故当事者、家族によるシンポジウムで飯沼健一さん(栃木県)は、小学校一年生の息子が給食の白玉汁を喉につまらせ「意識が戻らないまま二年がたつ」と報告。

高瀬典子さん(茨木市)は高校一年生の息子の柔道審査会の日の

事故をめぐる「学校の報告書には当日、顧問の先生がいたとかかれていたのに驚いた。その日、顧問はいなかったし、息子は道場外のロビーで放置されていたのが実情」と真相究明の困難さを悲しみをこらえながら話しました。

高校一年生でラグビー試合中に頸椎を骨折し、車イス生活の中村周平さん(京都市)は「スポーツなどで被害・加害に到る危険が誰にもある。ノーサイド(試合終了のよう)にしてお互いの立場を離れ、制度の確立を」と訴えました。

中村さんは、日本スポーツ振興センターの統計で年間の事故件数は一三万件程度、その中で、年平均二〇件ほどが重篤障害事故になっていると紹

介。「センターの一時金では生涯補償にならず、本人と家族のみがすべて負担する状態の改善を」と話します。

代表の喜多明人早稲田大学教授は記念講演で、「現状はほとんど事故原因究明が進まず、裁判に到るケースが多い。過失責任によって賠償が生じることを恐れるためだ」と指摘。当時者間では解決は困難だと①第三者機関の設置②無過失責任主義に立つ学校災害補償法の制定③安全担当の専門職の学校配置などを提案しました。

会場参加者の中に合宿中に起きた娘の死亡事故から九年、学校に足を運び「安全委員会」の設置など対策を求めてきた草野とも子さん(江戸川区)の姿もありました。

草野さんの娘が通っていた高校で、年に最低二回、安全対策委員会を開きスポーツドクターなどから学ぶなどの活動を通して「先生たちも安全を意識してくれ、徐々に変化の手応えを感じる。二度と事故が起きないシステムの構築を、娘の代わりには訴え続けたい」と話した。



※学校安全全国ネット
副代表（弁護士）

大津いじめ問題がマスコミで取り上げられた。
この事件を契機に学校災害・学校事故のもつ様々な問題が、
一気に露見してきた。

- ① 度重なる現場の証言を教師が集団的に無視していたこと
- ② 現場に立ちあわせても、「喧嘩」として処理し解決を放棄してしまう事
- ③ 校長は学校として知らないこととし、責任回避する事
- ④ 教育委員会の姿勢は、学校の責任を軽く見せようとする校長を歓迎している事

総じて学校の自治自浄能力が衰え、警察介入があるまで、事実【真実】と向き合おうとしない教育現場＝学校と教育委員会の姿等である。

7月21日の東京新聞（3面）は「いじめ自殺どう防ぐ」の見出しで「こどもの人権110番」の弁護士の意見を紹介しているが、「大切なのは加害者側の処罰を求める姿勢ではなく、いじめ行為自体を止めることです。」と締めくくっているが、その担い手とプログラムが示されていないことがもどかしい。われわれのテーマでもある。



学校安全全国ネット準備会事務局長 浅見 洋子（カウンセラー）



2012年7月20日 東京新聞 東電病院の売却検討との見出しに歯ぎしりをしました。文部科学省に買い上げさせて、
学校事故の被災者のための病院にするよう働きかけの出来る社会状況が出来ていればと… 残念！

<p>と考えています。</p> <p>を教育機関、教育委員会に働きかけを</p> <p>報告書の開示・学校長と保護者の併記</p> <p>まずは、事故の再発防止の為に、事故</p> <p>ことを願います。</p>	<p>また、地方での活動・被災者の状況・</p> <p>思いなどを通信とホームページを活</p> <p>用し、お届けすることも…。</p> <p>いつの日か、心の鎖で日本各地の方々</p> <p>と繋がり、社会が認知する団体になる</p> <p>ことを願います。</p>	<p>また、地方での活動・被災者の状況・</p> <p>思いなどを通信とホームページを活</p> <p>用し、お届けすることも…。</p> <p>いつの日か、心の鎖で日本各地の方々</p> <p>と繋がり、社会が認知する団体になる</p> <p>ことを願います。</p>	<p>事務局長通信一号をお届けします。東</p> <p>京で、「子どもの学校生活の安全」の</p> <p>ために出来ることは考えた時、</p> <p>専門家の方々から正確な知識を学び</p> <p>発信する事なのではないかと…。</p>
--	---	---	--



お知らせ欄



お願い欄

☆ 第2回公開学習会のお知らせ！

日時 8月3日（金曜）20:00～22:00

場所 早稲田大学 戸山キャンパス

講師 浅見洋子 カンセリングについて

※ 詳しくは、チラシをお読みください。

★ 8月25・26日の「日本外来小児科学会」参加に向
皆さまのご協力をお願いします。

まずは、一人でも多くの方々に学校事故を、被災者の皆
さんの現況を、思いを、知らせましょう！

もぎ取られた命のことを、障害と共に生きる実態を！ ま
た各地・各団体の活動を紹介し、今、悩んでいり方々に手
を差しのべる一助にしませんか？

☎ 連絡先は下記宛てに

☎

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステジビル1706 南北法律事務所内

☎ 03-3511-5070 ☎ FAX 03-3511-5784

✉ uta@yoko-no-heya.jp 浅見洋子のメールアドレスです